



キカイを超えた、その先へ。

2019年4月1日、

マルカキカイ株式会社は、

株式会社マルカに社名変更しました。

2019年6月「新キャンペーンオープニング」

4月1日から社名をマルカキカイ株式会社から株式会社マルカに変更しました。併せてMarukaのMをモチーフにしたシンボルマークとコーポレートスローガンの「Unique Solutions」を新たに設定しました。

変更先立つ3月28日には、日本経済新聞と日刊工業新聞に告知広告をカラーで掲載しましたので、ご覧になった方も多いと思います。青空に旗めく白地のシンボルマークは、ことのほか皆さまからご好評をいただきました。

長年親しんできた社名「マルカキカイ」から「キカイ」を外した意味については、以前も述べたように、「VUCAの時代」の中で、未来に向かって私たちが追求すべきものは、私たちが活躍するフィールドを大きく拡げていくことです。つまり「キカイ」を超えた先に拡がるフィールドの様々な課題に対して、「キカイ」にこだわることなく唯一無二の解「Unique Solutions」を、他に魁て提案する企業集団を目指すとの思いです。

取引先様から「マルカは頼りになる企業であり担当者である」と言っていたるように「マルカは変わった、新しくなった」と言われる仕事振りを全員で見せましょう。

上期の業績については、全体としては、ほぼ当初計画どおりの実績となる模様ですが、本部ごと更に部店ごとに見ると結果には濃淡の差が大きくなりました。

中期経営計画の最終目標を700億円に引き上げ、今年度のスローガンの副題に掲げる「完遂20/70」に向かう中で、全ての部が計画を達成することがMUSTです。自分の責任を意識し、他人の足を引っ張ることがあってはなりません。

経済環境を見渡せば、出口が見えないまま、ますます深刻化する米中の貿易摩擦問題や英国のEU離脱問題など世界経済が混迷の様相を深めていく中で、この下期は昨年同様の業績にフォローの風が期待できる環境にはありません。

このような環境下で経営プランを達成する為には、着実



竹下社長

な「計画遂行」と「品質管理」が重要です。「計画遂行」ではPDCAサイクルをこまめに行い、計画と実績に乖離が生じれば、初期段階で原因究明と対策を実施する。「品質管理」では、些細な違和感やヒヤリ・ハットの感覚を放置することなく、初期の段階で対処することです。

つまり早め早めに始末をつけることが重要で、これには各自の強い「責任感」と「感知能力」が必要です。良く「実績の差は責任感の差、能力の差は努力の差」と言われます。下期はこのことを常に念頭に置いて貰いたいと思います。

4月1日に入社した新人12名は、皆配属された部署で毎日張りきって仕事をしていますが、研修で他社を訪問した際に、先々で「自責と他責」の話を良く聞いたそうです。つまり「起きたことは自分に責任がある。他人の責任にははいけない。」これは社会人として心得て置くべき基本であって、特に悪いことは他人のせい、環境のせいにははいけないという話です。我々全員が改めて心に刻むべきことだと思います。

5月1日より新しい天皇陛下と共に元号が「令和」となりました。マルカにとっても、4月1日より新しい社名、シンボルマーク、コーポレートスローガンの設定しましたが、まさに「第2の創業」に相応しい新しい時代の幕開けとなりました。

全員が「汗をかき」(BP&EE: Battle for Profits& Strive to Eliminate unnecessary Expense)と「しまった絶無」(NR: make every effort today, leaving No Regrets)に徹して、新しい時代の幕開けに相応しい実績をこの下期に築きましょう。

2019年度キャンペーン

グローバルイノベーションⅢ 第2の創業 更なる躍動

Global Innovation III
Move Beyond the Past with Vigorous Ambitions

完遂20/70

Let's Accomplish our Mission "20/70"!

東京支社移転のご案内

このたび弊社は3月11日(月)より、下記の住所へ東京支社を移転し、業務を行うことになりました。

第2の創業としてスタートした新生(株)マルカ東京支社は、真のグローバル企業を目指し更に大きく飛躍して参ります。近くにお越しの際は、是非お寄り下さい。

取締役 副社長
東京支社長 二橋春久



記

新東京支社住所	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地 錦町トラッドスクエア4階
代表電話番号	03-6811-7311
F A X 番号	03-6811-7326(共通)
営業開始日	平成31年3月11日(月)

各部門電話・Fax番号

部門	電話番号
東京産業機械部	03-6811-7312
フードシステムソリューション部	03-6811-7323
プラスチックモールディング & ダイカastingソリューション部	03-6811-7323
東京建設機械部	03-6811-7325
東京経理総務	03-6811-7311

アクセス

東京メトロ半蔵門線「神保町」駅 A9番出口	徒歩3分
東京外環東西線「竹橋」駅 3b番出口	徒歩4分
東京外環丸の内線「淡路町」駅 B7番出口	徒歩6分
JR山手線「神田」駅 西口出口	徒歩12分



新生マルカは「第2の創業」として、

- ①顧客満足度No.1真のグローバル企業を目指す
- ②新規ビジネス創出による脱機械専門商社、キカイを超えた、その先へ。
- ③安定的業績を確立すべく設備投資の波に左右されない商品群の創設

の3つを標榜し、多様化したビジネスに対応するため、商号を株式会社マルカへ変更、更なる飛躍・大きな成長を目指します。また、コーポレートスローガンを「Unique Solutions」と制定し、お客様のニーズに対して提供する唯一無二の「解(こたえ)」を、他に魁けたスピード感をもって対応して参ります。日米中亜の各トップに、マニフェストをご披露頂きました。

いよいよ「マルカ物語り」第二話(第2の創業)公演の幕が切って落とされました。公演はいつも満員御礼となって欲しいものです。

それには出演者全員(マルカ)が、常にお客様(顧客)に新しい感動を与えられる演技(斬新な提案=Unique Solutions)を見せ続けねばなりません。出演者も日米中亜から集められ国際色豊かとなりました。演出家としては其々の個性ある演技力を思い切り引き出し公演を是非とも成功させたいものです。

それが「マルカ物語り」第三話(第3の創業)へと続く鍵となるでしょう。

取締役兼副社長執行役員COO 二橋 春久



Maruka
Unique Solutions

米州の3つの組織(Maruka USA、Industrial Tool Inc.、Maruka Mexico)は、新生マルカの精神と理想に基づき、総力を挙げて「青」柱を強固にし、お客さまに最適なソリューションを提供し続け、マルカグループに貢献し続けることを誓います!

米州営業本部 統括本部長 嶋林 直人



マルカ四極の一極として、巨大市場の中国で、まだまだこれから、大いに売上を伸ばし成長していきます。

- ・中国系企業への拡販
- ・モチベーション高く、組織にコミットした現地化の促進
- ・ガバナンス・コンプライアンスの徹底

中国営業本部 統括本部長 長尾 学



2020年をゴールとした中期経営計画を全社一丸必ず達成する。

社名の変更、ロゴやコーポレートスローガンの新設は、まさに新生マルカ、第2の創業を実践し続けなければならない。

業績のみならず、内部統制やコンプライアンスの徹底など、また会社を構成する社員の幸福の実現、社会と一体化した信頼される永続的企業を目指すよう、一人一人のさらなる意識改革が求められる。

取締役兼常務執行役員CFO 飯田 邦彦



“産機本部の資源を最大限活用し、モノづくりで社会貢献を目指す”

- ①ユーザーとの取引深耕及び国内外での戦略的協業推進
- ②重点メーカー、MM会商品の拡販及びマルカ独自商品開発の推進
- ③食品機械、ロボットシステム取引拡大
- ④海外要員の育成及び海外拠点の戦略的拡充
- ⑤あらゆる製造プロセスにおいて提案営業で商機を創り出す

取締役兼常務執行役員
産業機械本部長 難波 経久



株式会社マルカ Maruka Corporation

*新しいロゴは、MARUKAの「M」をモチーフに日米中亜の四極体制を更に強化推進していくというビジョンから、4色のパーツ、日本を「緑」、アジアを「オレンジ」、米州を「青」、中国を「赤」、で表現しています。

スクエアなシンボルマークの空白の三角形をラストピースと呼び、目に見えない企業価値を視覚化しました。

Love&Respectをモットーに

- * 機械要素/ユニット/設備/ソフト/システムによる自動化効率化の技術
- * 貿易/物流含めた海外地場市場取引のノウハウ
- * ユーザー/メーカー/取引先との関係を活用融合コーディネート力に拡充構築しその力で世界の生産/消費、技術革新、SDG's実現に貢献し個人成長と会社成長の一致を目指す。

グローバル機材本部長 神田 晃三



人口6億4千万の巨大市場アセアンに30有余年に渡り根を下し、ここに新生なったマルカが"Unique Solutions"で、現地との一体化、ネットワークの活用を実践し現地、現物、現実、現人、4現主義で現地貢献、2020中計の達成をめざしオレンジの柱が貢献できるよう一丸となって邁進してまいります。

東南アジア・インド営業本部 統括本部長 黒澤 淳一



建機60年の歴史、永年取引の多くのお客様とメーカー各社との関係は貴重な財産。

- ①最適商品、有益な提案&情報の提供等でより一層の信頼関係の構築に努る。
- ②伝統商品、収益商品、戦略商品の拡販、レンタル事業、保険事業の拡大により建機事業の安定的成長を率先難事で目指す。

建設機械本部長 福屋 謙二





勤続20年を迎えて



国際営業部
部長代理
堀 晃輔

20年間で一番の思い出

【事務所立上げ】

入社5年目の2004年2月、常夏のジャカルタから池が凍ってスキーができる中国・天津に赴任した時のことです。事務所・備品選び、会社・税務登記、ナショナルスタッフの採用等々、本当に勉強になりました。1人採用するのに30人近く面接した事、ホテルの一室から日本人会名簿片手に順番に電話をし、私を怪しまずお会い頂いた方々を、今でも鮮明に覚えております。そのおかげで、今の私があると思っています。

【予知夢】

数年前の中国での入札案件。入札前日、寝ていると翌日の入札の夢を見ました。夢の中で”神のお告げ”のように具体的落札金額がはつきり書かれていて、それを翌朝、再検討し、夢で見た提示金額で入札→落札出来た。(前日の金額では落札出来ていなかった。。。同意してくれたチームに感謝。)

第2の創業(株)マルカへのアプローチは？

社会人生活の半分以上(12年半:インドネシア2年/天津7年/上海1年半/広州2年)を海外で勤務し、勉強させていただきました。現在は入社当時の配属部署、国際営業部で東南アジア・中国の非日系ユーザー向けに各現地のナショナルスタッフと連携し、入札参加や同行訪問等を日本にいなながらも海外中心の仕事をしています。今までの経験と、駐在したことの無い国の人々との仕事を通じて『人間は自分に本当に自信が無いと謙虚になれない、自分に本当の強さが無いと感謝が出来ない』と言う戒めを日々噛みしめながら、再度拠点長として駐在出来るよう日々邁進する所存です。

家族への感謝

結婚して13年、ほぼ単身赴任生活で簡単に「苦勞をかけています」と言えないくらい、妻には苦勞をかけています。1日も早く娘に「母ちゃんは何で父ちゃんと結婚したの？ほやいてばかりなのに」と言われたいよう頑張ります。

※私自身も小さいころ母に同じ質問を投げかけていましたが、中学の終わりくらいに漸く父の存在の大きさを実感しました。



東京産業機械第一部
部長
桑木 伸也

20年間で一番の思い出

入社1年目の11月、海外研修生としてマレーシアに赴任したことです。学生時代にアジアの国々を周遊した事はありましたが、マレーシアは初めて訪れる国でした。到着初日クアラルンプール空港に到着すると、CHAN現マレーシア社長が迎えに来てくださって、綺麗に舗装された高速道路を通って市内に向かった事を今でも覚えています。その後、インドネシア、タイと赴任させて頂きましたが、現在でも当時お世話になったお客様、メーカー様、上司、同僚に支えられて仕事をしている事を考えると、入社20年経っても一人では何もできないんだなとつくづく感じております。

第2の創業(株)マルカへのアプローチは？

ものづくりの現場では、量産工場を中心に今後ますます自動化や合理化が進むと考えられますが、どんなに通信機器の発達やAI化が進行したとしても、お客様の発注システムが変わらない限り、我々の存在意義はまだまだあると考えています。新生マルカのスローガンである"Unique Solutions"のもと、ロボットにはできないきめ細やかな対応、AIにはできない唯一無二の提案を心掛けていきたいと思っております。

家族への感謝

長男はインドネシア、次男はタイに赴任している時に生まれましたが、国内転勤でも大変ななか、よく海外までついてきてくれたなと改めて感謝しています。これからも苦勞を掛けると思いますが、今後とも宜しくお願いいたします。



名古屋産業機械第二部
部長代理

田川 聡

20年間で一番の思い出

インド担当を経験した8年間です!!(2010年8月~15年10月駐在、15年10月~18年6月タイ駐在、タイ駐在3年間のインド出張回数合計50回以上)。その間で確立できた『タイ製設備のインド輸入商流』です。当時インドに販売している設備の7割が日本製、3割が台湾製でした。今では、マルカインド年間売上の半分以上を超える年もあるほどです。当時のエピソードを一つご紹介したいと思います。インド西部のピバブ港に入港された設備が、コンテナ貨物列車に乗る順番待ちで期日に間に合わない。順番待ちのコンテナ数、鉄道ルート天候不良によりたまりにたまって1,000本以上との一報が入りました。一報を聞いた瞬間、『期限到着不可能』と思いましたが、港管轄州長に物流業社長が面会して奇跡は起きました。州長特命で最優先貨物として面会翌日に無事ユーザー工場方面(ガリハルサル/アリー近郊)列車に乗り、奇跡的に無事間に合いました。インド進出をご検討されているお客様おられましたら、ご一報頂きましたら日本全国どこでもプレゼンにお伺い致します。これからも(株)マルカは、インドをはじめ米中亜方面の海外進出サポートをさせていただきますので宜しくお願い致します。

第2の創業(株)マルカへのアプローチは？

1999年に入社、勤続20年節目の年にマルカキカイ株式会社から『株式会社マルカ』に社名変更致します。コーポレートスローガンは、新たに『Unique Solutions』と制定されています。今でも日々学ぶことは沢山ございますが、これからは16年間アジアで経験した事を『Unique Solutions』の1ピースとして第2のマルカ人生で貢献していければと考えています。20年後に一つでも今考えている事が実現できていればと、このマルカニュースを大切に保管しておきます。

- ①インド製製品の日本を含めたアジアへの輸出事業(農業機械用部品や産業機械、食材等)
- ②タイ製の食材輸出。及び、タイ製産業機械の国外輸出案件のみ取扱会社設立(TMM会会員会社との協業)
- ③アフリカ進出~ヨーロッパ進出は、寒いのが苦手なので別の方お願い致します!!

家族への感謝

高2になった長男が小学校入学の時から数えれば11年目の単身赴任、家庭の事は120%妻に任せた10年間、2人の男の子を、高校生と中学入学まで育てて頂き感謝の言葉しか思いつきません。長男も次男も親父が大好きなサッカーを、続けてくれて感謝しています。3人でボールを蹴っている時が、仕事を忘れられる一番の時間です。家族に約束しているヨーロッパサッカー観戦旅行を実現する為、第2の(株)マルカ人生もゴール目指して頑張ります!!



大阪産業機械第二部
部長代理

坂口 光夫

20年間で一番の思い出

今回の勤続20年記事依頼が来た時は、もうそんなに経ったのかと色々なことが思い出され、感慨深い気持ちになりました。名古屋、大阪、インドネシア、フィリピンと様々な拠点を経験させて頂きました。中でもフィリピンでは、日本人が一人でした。駐在した当初は英語もままならず、上手くやっていたのが大きな不安を抱えていたことを思い出されます。お陰様で良いスタッフに支えられ、乗り切ることができ、私自身も大きく成長させて頂いたと良い思い出になっております。

第2の創業(株)マルカへのアプローチは？

4月より社名が(株)マルカに変わりました。これは将来に向けて大きく変革、飛躍して行くということを示しているということに他なりません。イコール社員一人一人も変わらねばなりません。機械の提案だけでなく、お客様が満足頂く為に、ヒト・モノ・カネに関わる様々なソリューションを提供できるようなマルカマンでいられるよう、今後も努力していきたいと思っております。

家族への感謝

幸いなことに、家族とのことで悩んだことが殆どありません。(私だけが思っているのかもしれませんが。(笑))その分仕事にも打ちこめています。感謝しています。ここに書き尽くせないほどの「有難う」があるとも思っています。

Maruka's successfully active employees

 VOL.7



This article is to introduce "Maruka's successfully active employees" all over the world. We believe the readers will know Maruka Group much better through this.

世界中で活躍している社員の紹介記事から、マルカグループをもっと詳しく知って貰いたいと願っています。

上海丸嘉貿易有限公司
天津分公司 営業部 部長

祝 照賀

2011年5月入职上海丸嘉貿易有限公司天津分公司的祝照賀。作为留学生和在日本就职后的生活，一共在东京生活了9年的时间。

丸嘉（天津）是一座靠近海边漂亮的城市，距离北京约120km。坐高铁（中国的新干线）的话从天津到北京所需的时间为35分钟。天津也是一个工业化发展的大城市。天津港也是中国重要的港口之一，天津港2016年全年完成货物吞吐量5.5亿吨，同比增长1.9%；集装箱吞吐量1450万标准箱，同比增长2.8%。

我作为一名营业担当，主要担当的客户是T社相关的供应商。2018年度T社（中国）产量130万台，比2017年增长8%。因经济不景气，中美贸易摩擦等原因，2018年乘用车总销量减少，并首次出现负增长。2018年整车市场加剧。

天津除了T社，还有其他亚洲国家和欧美国家的工厂和商场。对日本人来说，天津市是一个安逸，舒适的城市，生活，交通都十分便利。遍地是711便利店，还有永旺商场，赶时间的时候还可以吃一碗食其家或者吉野家，丸龟制面的乌冬面，和幸的猪排饭，在天津可以像和日本一样的生活。

最后，感谢公司领导和客户的支持。丸嘉（天津）会随着公司的飞跃而更加努力。

私は、2011年5月に上海丸嘉貿易有限公司天津分公司に入社した祝照賀と申します。留学生としての生活と、日本での就労期間を含めたトータル9年間東京で生活していました。

マルカ（天津）事務所は、海の近くにある綺麗な町です。北京から約120kmにあり、高铁（中国新幹線）で天津から北京までの所要時間は約35分です。天津は中国の中でも工業化が進んだ大都会です。天津港も中国の重要な港の一つであり、2016年度は、貨物の積込量5.5億トンを達成し、前年比1.9%増加し、コンテナの積込量は1450万本で、同2.8%増加しています。

私の主なユーザーはT社系のサプライヤー様を営業担当しています。2018年度のT社（中国）の生産高は130万台で、2017年より8%増加いたしました。しかしながら米中貿易摩擦による影響で2018年度の乗用車の総販売台数が減少し、初めてマイナス成長となりました。その為に、新車市場の競争が非常に激化致しました。

天津はT社のほか、アジア他国と欧米の工場やモールもあります。日本人にとって、天津は安全で、快適な都市です。生活環境、交通機関も非常に便利です。セブン-イレブンのコンビニ、そしてイオンモールなどもあり、時間に追われた時には、すき家、吉野家、丸亀製麺、和幸の豚カツを食べています。天津では、日本と同じような生活をする事ができます。

最後に、お客様のお引立てとマルカグループの皆様のご協力とサポートに感謝いたします。今後も丸嘉（天津）会社が、更に飛躍するために一層鋭意努力致します。



（天津で牛丼食事中）
（味は日本と同じです。）

中国全体会議2019



3月9日(土)に、上海丸嘉貿易有限公司の事務所会議室で中国全体会議が開催されました。今年は会議前日に参加者全員が集まり、懇親会が実施され、お酒も入り、ざっくばらんに仕事の事を含め色々な話を致しました。チームワークを高める意味でも、今後は中国全拠点での懇親会の機会を増やしていく事になりました。

中国全体会議は、中国ビジネス再生会議で策定したロードマップに対しての現状と、目指すべき姿を定量的な視点で、マルカ本社より二橋副社長、飯田常務、難波常務を迎え、討議されました。

会議の冒頭には、黎志勁課長、陳燕主任、吳君主任の昇進に対する表彰式が行われ、その後、長尾統括本部長より今後の事業方針についての発表に続き、上海、無錫、天津、広州の代表より順次事業計画と事業拡大計画の発表がありました。

各拠点から今後の成長戦略として、

- ①エンジニアリング機能でシステムソリューションの確立。
- ②食品機械市場等の新商品・新分野・新市場での新規ビジネスの創造。
- ③地場大手企業への販売を伸ばす。というような意見が聞かれました。

今回の中国全体会議の総括として、昨年からの課題に対して何をクリアーし、何がクリアーできていないかを明確にし、今後の方向性を定めた会議でありました。2020年までにグループ全体に占める中国事業での貢献度を真の意味での「極」となり、顧客満足度NO1の真のグローバル企業の一躍を担っていきます。

(上海丸嘉貿易有限公司 営業部 光山 友弥記)

東南アジア全体会議2019



2011年より開催されて、今回で第9回を数える東南アジア・インド全体会議が、バンコク(タイ)にて4月6日(土)に開催されました。タイは今回で2回目の開催地となります。

日本本社からは、竹下社長、東南アジア・インドから各拠点代表が一堂に会しました。

冒頭竹下社長より、4月1日より社名を「株式会社マルカ」となったこと、新しいロゴマークの意味、コーポレートスローガンの「Unique Solutions」のご説明を頂き、緊張感が漂うまま会議は開始されました。会議内容は各国の営業推進状況、上期の実績と下期の見通し、各国の問題や課題等を発表し、「アジアのマルカ」の復活に向けて有意義な討議の場となりました。

会議終盤には、工作機械メーカー様、現地仕入れ先様も交えてアジア・インドでの拡販に向けて商品のご説明および販売協議がなされ、有意義な会議の幕を閉じました。会場の場を離れた会食の席では、マルカタイ社のローカルスタッフも参加し、ビジネスは勿論、プライベートな事でも大いに盛り上がりました。

第2の創業による商号変更に伴い、私自身もバージョンUPする決意への1日となりました。

(マルカタイ社 機械課 課長 文東 勇人記)



(黒澤統括本部長乾杯の挨拶)

マルカベトナム社

安藤社長のベトナム便り



いつもお世話になっております、マルカベトナム 安藤です。

マルカベトナム 安藤宅では、定期的にホームパーティを開催しております。料理は私が用意して、お客様にはお酒や飲み物を提供いただくという内容です。日本料理が基本ですが、現地で入手できる現地食材を多く使います。エスニックな日本料理になることもあります。ほぼ日本の味を再現できていると思います。私は膝が悪いので、ゴルフの代わりに親睦を深めようと開催しております。このホームパーティですが、思った以上にお客様やメーカー様と親睦を深めることができ、とても嬉しい限りです。

人気のあるメニューをご紹介します。天ぷら、かぼちゃ煮物、マナガツオの塩焼き、唐揚げ、特製ダレ冷奴、餃子、ニンニク砂肝炒め、鶏レバーオイル漬け、牡蠣オイル漬け、だし巻き卵、温玉サラダなどです。

写真は昨年のマルカベトナム忘年会です。社員だけではなくメーカー様もご参加いただき、部屋一杯の収容となりましたが、大変盛り上がることができました。日本食に飢えている、いろんな料理をゆっくり気軽に食べたい、などのご要望のある駐在の方がいらっしゃいましたら、是非お声かけください。



(マルカベトナム社員一同)



(マルカベトナム女子社員とメーカー様)

「ママ大好き!!!」頑張るママの似顔絵

母の日にちなみ、弊社マル女(マルジョ)ママのモチベーションの原動力であるお子様に、ママの似顔絵を描いてもらいました。みんな上手にママを捉えてママへの思いが詰っています。



マルカの動き

動き

3月 4日：新キャンペーンオープニング
 3月 9日：中国全体会議
 4月 1日：入社式
 4月 3日：第一四半期決算発表
 4月 6日：東南アジア全体会議

入社辞令

3月1日付
大池 敦夫 ソノルカエンジニアリング(株) 調達部
 4月1日付
中本 哲哉 ソノルカエンジニアリング(株) サービス部

辞令

3月1日付
中島 勝矢 マルカインド社 取締役社長
斎藤 正隆 東京産業機械第三部長
桑木 伸也 東京産業機械第一部長
 4月1日付
野田 雅彦 名古屋支店長代理
藤木 慶吾 名古屋産業機械第二部長代理
有沢 悟 名古屋産業機械第一部長代理
森下 周平 東京産業機械第二部長代理
劉 飜 マルカ上海社 総経理 営業第一部長
栴田 康 出向：(株)アースシステム21
富田 昌孝 マルカメキシコ社 機械営業部 ケラタロオフィス 部長
籾内 利文 東京産業機械第一部 課長
塩川 司 大阪建設機械部 課長
岡田 恵美 経理部 経理課長
岡田 昌洋 東京建設機械部 課長
小寺 智美 保険部 課長
瀬戸 玉江 経営企画室 課長
濱田 卓郎 国際営業部 課長
窪田 佑次 経理部 経理課 主任
児玉 大貴 東京建設機械部 主任
段 春峰 FA機器営業部 第一課 主任
小幡 篤史 静岡支店 主任
佐古 敬介 情報システム部 主任
茶野 雅友 FA機器営業部 第一課 主任
岡本 尚樹 名古屋産業機械第二部第一課

2019年新入社員

4月12日付 仮配属
足立 翔平 大阪産業機械第二部
小野 香 国際営業部
下桐 拳太郎 東京産業機械第一部
立木 沙菜子 経理部
中村 魁冴 経理部
中村 勇斗 東京産業機械第二部
西留 千織 大阪産業機械第一部
橋田 友紀 東京産業機械第三部
堀尾 僚 名古屋産業機械第二部 第二課
丸山 侑里子 名古屋産業機械第一部 第二課
森 大輝 国際営業部
山崎 千裕 名古屋産業機械第二部 第一課

表彰

○殊勲賞
大阪産業機械第二部 3件 **名古屋産業機械第二部** 4件
東京産業機械第二部 1件 **マルカメキシコ社** 5件
東北支店 1件 **マルカ上海社天津分公司** 1件
名古屋産業機械第一部 2件
 ○一般表彰
【CISTEC STC Advanced】
谷口 友哉 国際営業部 業務課長
【CISTEC STC Expert】
谷口 友哉 国際営業部 業務課長
【油圧装置調整技能士2級】
和田 卓也 FA機器営業部 部品センター
【簿記検定3級】
小林 ゆり 東京支社 経理・総務
【貿易実務検定C級】
足立 翔平 大阪産業機械第二部
小野 香 国際営業部
立木 沙菜子 経理部
中村 魁冴 経理部
中村 勇斗 東京産業機械第二部
西留 千織 大阪産業機械第一部
橋田 友紀 東京産業機械第三部
山崎 千裕 名古屋産業機械第二部
宮地 さゆり 国際営業部



3月28日(木)～29日(金) マルカベトナムプライベートショー



3月5日(金)
建機全体会議



4月1日(月)
2019年度新入社員入社式

BAUMA2019(国際建設機械見本市)視察出張

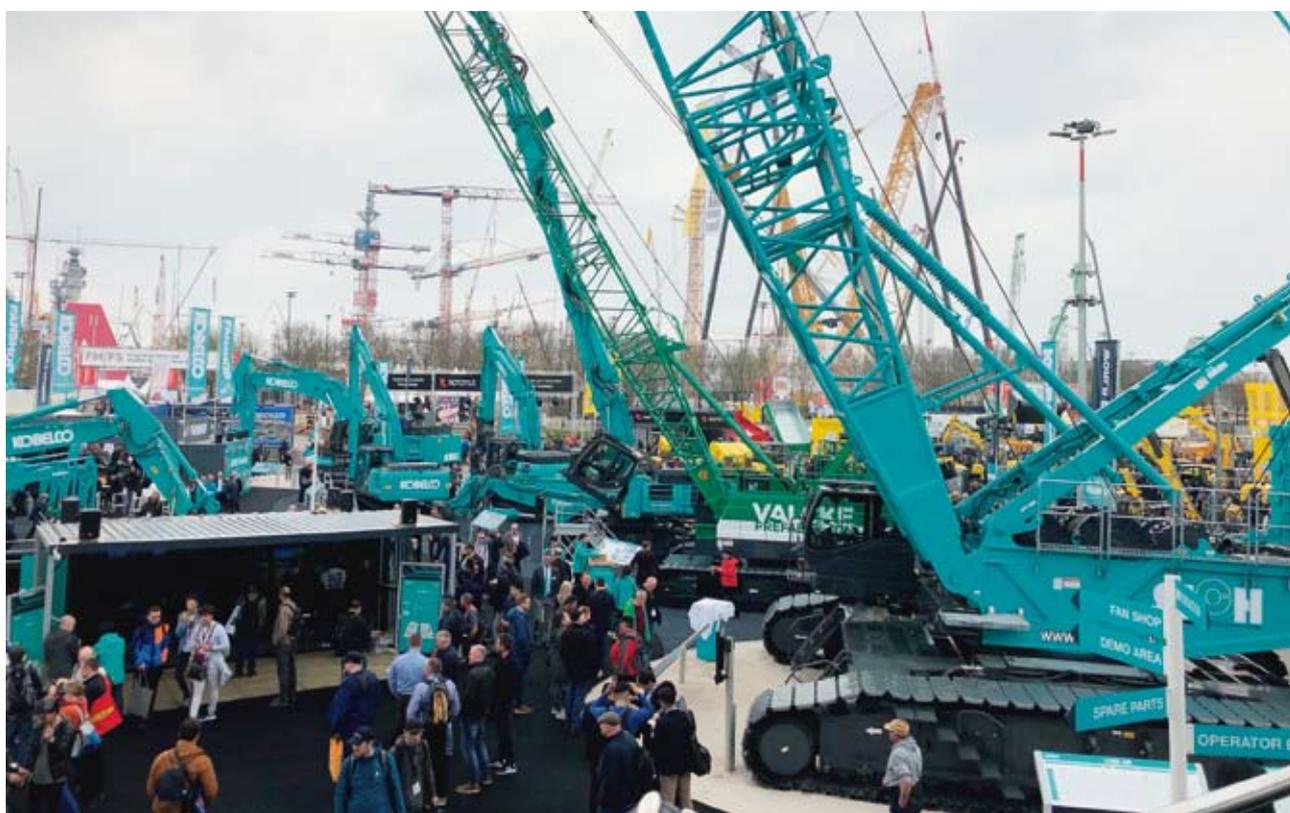
2019年4月8(月)～14日(日)、ドイツのミュンヘンで3年に一度開催される世界最大の建設機械展であるBAUMA2019にユーザー様6社と視察出張してまいりました。毎年、伸長を続ける世界の建設機械市場と共にBAUMA展も規模が拡大しており、出展社、約3,700社、入場者数は、200ヶ国強から約62万人との事で、3泊5日の強行スケジュールではありましたが、ユーザー様と共に、各々興味のあるブースを精力的に回りました。

入場してまず、コベルコ建機様のブースを訪問、熱烈歓迎をうけた後、マルカが代理店をしているMagni社(伊)、Erkat社、Kemroc社、HKS社(以上独)などを訪問し、また従来の建設機械のみならず、新しい基礎機械、環境機械など世界の最先端をいく建設機械のソフト、ハード、工法面での将来の方向性を実感できた視察でもありました。

時間的な制約から、会場とホテルの往復故、観光らしきものは、バスの車窓からの風景だけでしたが、夜はドイツ料理とワインで、昼間のハードスケジュールに、一服の安らぎ(?)を感じ疲れを癒して頂けたのではと思います。

今後とも株式会社マルカは、ユーザー様のニーズに寄り添い、メニューの充実を図ります。マルカの建設機械本部に、ご期待ください。

(建設機械本部 アドバイザー 砂河 利文記)



(コベルコ建機様ブース)



(MAGNI社様ブース)



(BAUMA展会場)